

在宅医療のあり方を共に考える



在宅医療連携だより



「ごあいさつ」


しばた地域医療介護連携センター
センター長 平塚 雅英

新型コロナウイルスによって世界に新しいルールが加わってから1年以上の月日が流れました。狡猾なウイルスは、人の命を脅かすだけでなく、感染していない人の暮らしにも、人と人との関係性にも大きな影響を与えています。とりわけ、守られるべき弱者に、そしてそこで働く私たち医療者、介護者にも仕事の多大な見直しを強いられています。

この状況で私たちは、より一層多職種での連携を意識して強めていく必要があるのではないのでしょうか。安全は自分一人だけで達成できるものではなく、チームで情報を共有し、考え、お互いが得意な分野を生かすことで、利用者を含めて地域全体を守ることが可能になります。

顔の見える関係から、信頼感を醸成し、地域がワンチームとなることが求められています。今、一人一人ができることを着実に進めていくことで、医療と介護の連携が進み、利用者を含めた地域全体が安全になることは確実です。ぜひ、手を取り合っ前に進みましょう。

在宅医療推進センター整備事業(ときネット事務室)
のホームページはコチラ

 <http://www.inet-shibata.or.jp/~zaitaku/>

『知って得する健康講座』や研修会のご案内などを掲載しています！



開催報告

令和2年度ときネット研修会 日時：令和2年11月19日（木）14:00～15:20

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Zoom、YouTubeLiveによるWeb形式での開催といたしました。

研修会当日申込者116名、YouTubeによる後日配信では97回の再生がありました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。

救急時患者情報システム『既往歴バンク』について

平塚センター長よりシステムの成り立ちから現在の状況をお伝えしました。

ときネットによる入院3日以内の情報提供について

ときネット事務室宮野より利用方法の説明の後、居宅介護支援事業所陽だまり苑長谷川かおり様、関川村社会福祉協議会居宅介護支援事業所高橋陽子様よりときネットを利用するの入院時情報提供書の実際について、グラフなどを用いてわかりやすく発表していただきました。

ときネットを利用するメリットとして長谷川様からは**業務時間の短縮になり個人情報伏せることなく情報提供でき、かつ入院時情報提供加算が取れること**をあげられました。

高橋様からは地域性から情報提供するために病院への往復だけでも1時間以上かかっていたのがときネットを利用することで**訪問・郵送よりも確実に早く提供できる**ことをあげられました。また、工夫している点として入院日や病棟などの家族からの聞き取り情報やカンファレンス等の日程などの伝達事項をメール本文に記載しているとのことでした。

デメリットとして、病院へ訪問する際患者さんに面会していただくことができていたそうですが、コロナ禍の面会制限によりそれも叶わなくなった為デメリットと感じなくなったとのことでした。

最後に受信する病院側からのアンケート結果をときネット事務室田中より報告いたしました。メリットとして、**早期に情報が受け取れること、セキュリティが高く個人情報保護につながる**ことがあげられました。デメリットとしては接続作業が必要等システムに関する意見が半数でした。システムトラブルにはときネット事務室が早急に対応していくことをお伝えいたしました。

セキュリティについて

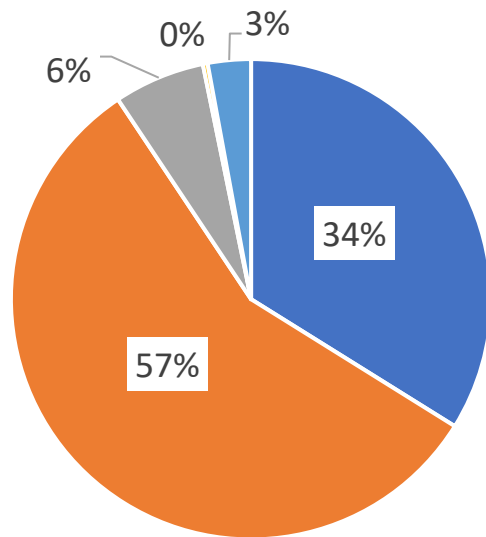
平塚センター長より、パスワードの重要性についてお話ししました。パスワード変更のコツとして、話題の鬼滅の刃を用いてのパスワード作成方法をお伝えしました。



《申込者内訳》

地域	申込者数
新発田市	55
胎内市	21
阿賀野市	9
聖籠町	2
村上市	24
関川村	2
粟島浦村	3
合計	116名

《研修会后アンケートより》



- とても参考になった
- 参考になった
- 少し参考になった
- 参考にならなかった
- 無回答

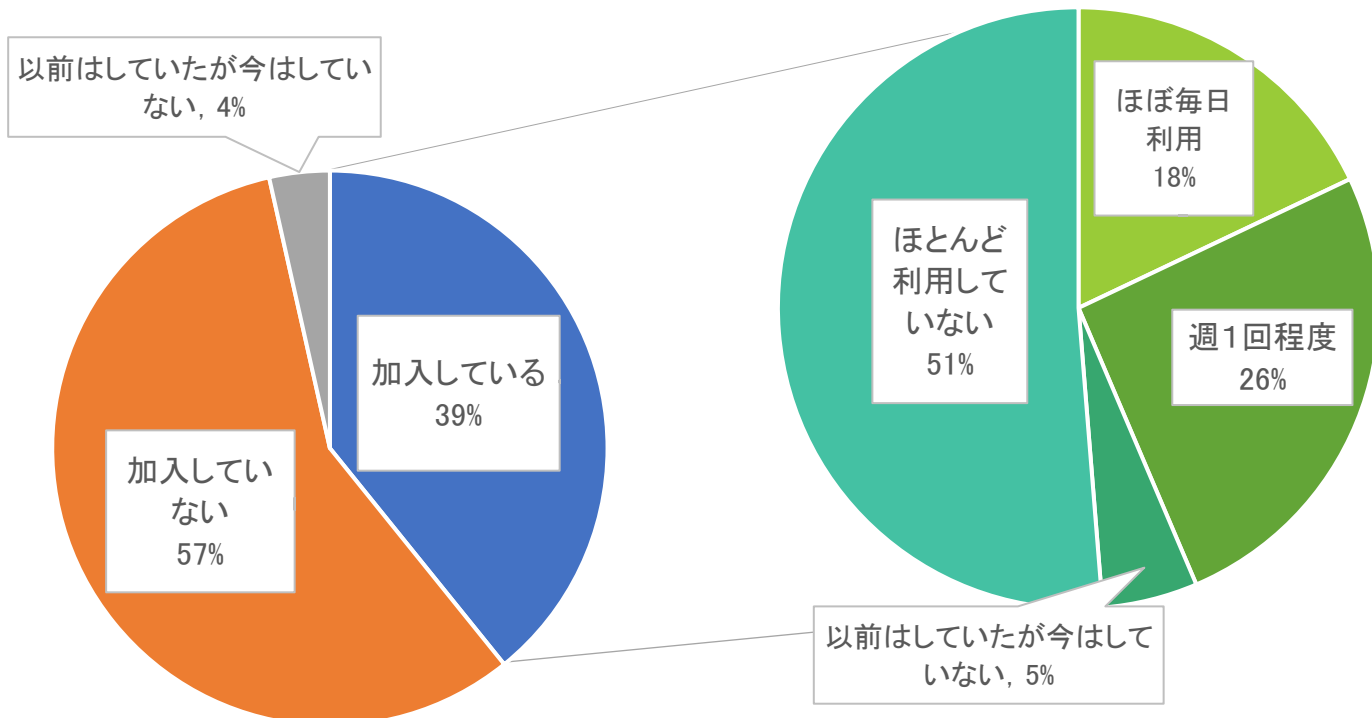
ときネット利用状況等に関するアンケート 結果報告

令和2年12月に新発田北蒲原医師会管内医療機関、薬局、介護保険事業所、障がい相談事業所等を対象とした標記調査を実施いたしました。結果の一部を掲載します。

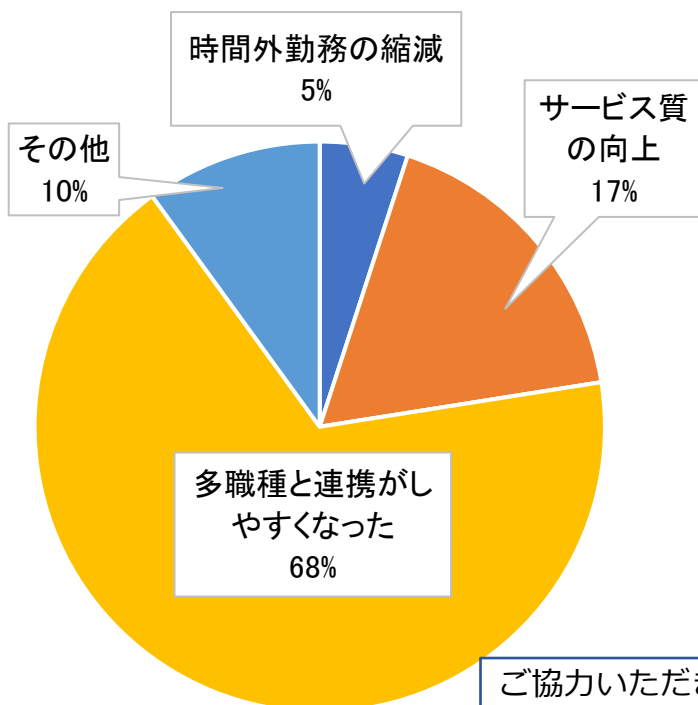
回答施設：218件

○ときネットに加入していますか？

加入している場合、最近1か月の利用頻度はどのくらいですか？



○ときネットを週1回以上利用している方は、ときネットの機能を利用したことで業務にどんな効果や変化がありましたか？（複数回答）



その他の意見

○FAXや電子メールでは送信できない情報を伏せ字なしで送受信できる。早く安全に連絡が取れて良い。（病院）

○個人情報の保護につながる。（介護）

○時間を問わず連絡する事ができる。（介護）

ご協力いただきありがとうございました。
いただいた情報は今後のときネット利用向上に活用させていただきます。



知って得する 健康講座

更新のお知らせ

「オーラルフレイル」について木戸歯科医院院長木戸寿明先生よりご執筆いただきました。フレイル、オーラルフレイルの概要から対応法まで、イラストやセルフチェック表を用いてわかりやすく掲載されています。

掲載ラインナップ

※役職名は掲載当時のものです。

第1回	骨粗鬆症	新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療長寿学講座特任教授	今井教雄 先生
第2回	大腿骨近位部骨折	新潟県立新発田病院 整形外科部長	須田 健 先生
第3回	認知症	有田病院	有田正知 先生
第4回	COPD	新潟県立新発田病院 呼吸器内科診療部長	田邊嘉也 先生
第5回	NEW! オーラルフレイル	木戸歯科医院 新潟県歯科医師会常務理事	木戸寿明 先生

URL: <http://www.inet-shibata.or.jp/~zaitaku/healthcare.html>

「しばた地域 健康講座」で検索

またはQRコードから⇒



ときネットの接続ハードルを
下げるには・・・

① 普段使っている

メールアドレスを登録すべし!

ときネットメールやチームに書き込みが

あった時に通知メールが届きます。

通知があった時にときネットを開けば

OK!

② タスクバーにときネットアイコン
をピン止めすべし!

パソコンが更新等で既定のアプリを勝手に

IE以外に変更してもタスクバーから

ならいつでも通常通りときネットが開け

ます。

③ 偶数月はパスワード変更の習慣を!

利用者パスワードの有効期限は初回30日、

2回目以降90日で切れます。

「チーム↓談話室」では平塚センター長

が偶数月にパスワード変更のお知らせを

しています。

↓↓①、②の設定方法は

「チーム↓ナレッジセンター」へ

編集後記

2020年4月より在宅医療推進センター整備事業担当となりました田中です。右も左もわからない中、周りの職員に助けられた1年でした。コロナ禍で人と人の距離が遠く感じる事が多いですが、思いやり・感謝の気持ちの大切さを痛感している今日この頃です。

お問い合わせ

一般社団法人新発田北蒲原医師会
しばた地域医療介護連携センター
在宅医療推進センター整備事業

(ときネット事務室) 担当: 田中、宮野

TEL: 0254-28-7914 FAX: 0254-28-7915

Mail: tokinet@pop.shibata.ne.jp

令和3年7月発行